2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　コーユーレンティア株式会社　　上場取引所　　東
コード番号　　7081　　ＵＲＬ　https://www.koyou.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）梅木　孝治
問合せ先責任者　（役職名）経営企画室長　　（氏名）大野　健二郎　　ＴＥＬ　03-6365-6505

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	24,655	△2.9	1,937	△21.3	1,991	△20.3	1,099	△23.4
2025年12月期第３四半期	25,385	7.4	2,462	49.4	2,497	48.7	1,434	53.9

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期 1,103百万円（△23.6%）　2025年12月期第３四半期 1,444百万円（56.0%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	98.43	96.42
2025年12月期第３四半期	129.78	126.92

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	20,234	13,381	65.9
2025年12月期	20,533	12,627	61.2

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　13,329百万円　　2025年12月期　12,575百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	10.00	ー	26.00	36.00
2026年12月期	ー	10.00	ー		
2026年12月期（予想）				27.00	37.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	0.9	2,800	△6.8	2,800	△6.7	1,700	△12.3	152.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	11,222,600株	2025年12月期	11,122,600株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	642株	2025年12月期	642株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	11,171,042株	2025年12月期３Ｑ	11,056,821株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、決算発表後速やかに当社ウェブサイト（ https://www.koyou.co.jp/ir/ ）に掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（表示方法の変更） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間における売上高は、24,655百万円（前年同期比2.9%減）となりました。営業利益は、1,937百万円（前年同期比21.3%減）となりました。経常利益は1,991百万円（前年同期比20.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,099百万円（前年同期比23.4%減）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

（レンタル関連事業）

レンタル関連事業では、建設現場向け市場において、高価格帯商品の需要増、在庫回転率の向上及び仕入コスト上昇に伴う価格転嫁の進展により、引き続き好調に推移しました。イベント向け市場においては、過去の大型案件における取引実績を契機とした新規取引先が増加しましたが、前期の2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）プロジェクトの反動減を補うには至りませんでした。常設オフィス向け市場においては、前期の大型案件の反動減の影響を大きく受けましたが、「Office DoReMo」（※１）の複合サービスの浸透に注力し、新規顧客開拓が順調に推移しました。法人向け市場においては、大型ＢＰＯ案件の規模縮小をカバーすべく顧客層拡大を図ったものの、同業他社との価格競争の激化等により厳しい状況となりました。これらの結果、事業全体の売上面では、前年同期並みとなりました。

事業全体の利益面では、人件費の増加に加え、千葉県の物流倉庫リニューアルに伴う設備投資に係る費用の増加により、前年同期比で減益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は14,708百万円（前年同期比2.2%減）となりました。また、セグメント利益は1,374百万円（前年同期比23.6%減）となりました。

（スペースデザイン事業）

スペースデザイン事業では、ビルダー業務において、モデルルームの新築工事及びコーディネートが好調に推移しました。また、イメージング業務においても、販売センターの映像・音響システムの販売及び設置工事が堅調に推移しました。一方、前期に計上した2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）プロジェクトの反動減を補うには至らず、売上高は前年同期並みとなりました。

事業全体の利益面では、ビルダー業務及びイメージング業務の売上構成比が上昇したことにより、売上原価率が低下し、前年同期比で増益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は4,368百万円（前年同期比1.3%減）となりました。また、セグメント利益は253百万円（前年同期比33.8%増）となりました。

（物販事業）

物販事業では、文教向け市場において、教育委員会等、教育機関へのＦＦ＆Ｅ（※２）の納入に注力しましたが、前期に計上した特許庁及び最高裁判所向けの大型案件並びに虎ノ門再開発案件の反動減に加え、郵政向け市場における入札案件の中止の影響を受け、前年同期比で減収となりました。

事業全体の利益面では、売上高が減少したほか、人件費の増加により、前年同期比で減益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は2,030百万円（前年同期比13.1%減）となりました。また、セグメント利益は45百万円（前年同期比69.4%減）となりました。

（ＩＣＴ事業）

ＩＣＴ事業では、既存取引先への営業強化及びパートナー企業とのアライアンス効果による売上高の増加があったものの、大型ＢＰＯ案件の減少等により、売上高は前年同期並みとなりました。

事業全体の利益面では、前述の減収要因に加え、人件費の増加により、前年同期比で減益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は3,547百万円（前年同期比1.2%減）となりました。また、セグメント利益は269百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

（※１）「Office DoReMo」：オフィスの多様な課題に対応するトータルソリューションサービス。

（※２）ＦＦ＆Ｅ：Ｆｕｒｎｉｔｕｒｅ（家具）、Ｆｉｘｔｕｒｅ（什器）＆Ｅｑｕｉｐｍｅｎｔ（備品）の略称。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ299百万円減少し、20,234百万円となりました。これは主に、現金及び預金が588百万円減少した一方、工具、器具及び備品（純額）が101百万円、賃貸用備品（純額）が70百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,053百万円減少し、6,852百万円となりました。これは主に、未払法人税等が540百万円、電子記録債務が350百万円、買掛金が318百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ754百万円増加し、13,381百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が698百万円増加したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年８月６日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,558,035	2,969,600
受取手形及び売掛金	4,170,806	4,043,078
契約資産	5,637	18,858
電子記録債権	782,305	509,204
リース投資資産	161,613	205,779
商品及び製品	163,687	352,046
仕掛品	442,066	185,863
原材料及び貯蔵品	30,744	30,735
前払費用	535,060	742,836
未収入金	310,663	289,331
その他	297,680	147,755
貸倒引当金	△3,260	△3,490
流動資産合計	10,455,042	9,491,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	973,879	977,012
機械装置及び運搬具（純額）	25,209	38,348
工具、器具及び備品（純額）	82,513	184,504
賃貸用備品（純額）	2,677,780	2,748,570
土地	3,771,295	3,771,295
リース資産（純額）	148,282	141,589
建設仮勘定	37,926	122,526
有形固定資産合計	7,716,887	7,983,846
無形固定資産		
のれん	186,526	153,609
顧客関連資産	270,886	242,863
ソフトウエア	292,383	317,393
その他	17,271	17,216
無形固定資産合計	767,067	731,083
投資その他の資産		
投資有価証券	214,788	519,220
繰延税金資産	327,650	396,630
差入保証金	792,758	846,501
その他	260,340	265,977
貸倒引当金	△804	△808
投資その他の資産合計	1,594,732	2,027,520
固定資産合計	10,078,687	10,742,450
資産合計	20,533,730	20,234,050

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,475,546	2,157,340
電子記録債務	1,398,443	1,047,467
未払金及び未払費用	675,588	710,036
未払法人税等	941,358	400,477
未払消費税等	395,637	134,967
預り金	193,379	98,395
リース債務	100,784	121,235
契約負債	195,122	413,139
賞与引当金	629,413	830,326
株主優待引当金	－	25,144
資産除去債務	19,067	－
その他	61,432	23,647
流動負債合計	7,085,774	5,962,179
固定負債		
リース債務	222,909	239,641
役員退職慰労引当金	265,936	292,927
退職給付に係る負債	2,882	2,972
資産除去債務	299,243	326,072
その他	29,554	28,722
固定負債合計	820,526	890,336
負債合計	7,906,301	6,852,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	992,520	1,018,620
資本剰余金	1,039,397	1,065,497
利益剰余金	10,484,347	11,182,490
自己株式	△522	△522
株主資本合計	12,515,744	13,266,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,940	63,903
その他の包括利益累計額合計	59,940	63,903
新株予約権	51,744	51,544
純資産合計	12,627,428	13,381,534
負債純資産合計	20,533,730	20,234,050

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	25,385,214	24,655,312
売上原価	14,801,292	14,100,024
売上総利益	10,583,921	10,555,288
販売費及び一般管理費	8,121,773	8,617,324
営業利益	2,462,147	1,937,963
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,159	22,457
作業くず売却益	4,809	13,811
その他	39,032	28,438
営業外収益合計	48,001	64,707
営業外費用		
支払利息	9,659	5,617
損害賠償費用	714	2,751
その他	1,847	3,203
営業外費用合計	12,221	11,572
経常利益	2,497,928	1,991,098
特別利益		
固定資産売却益	－	566
特別利益合計	－	566
特別損失		
固定資産除却損	7,719	509
特別損失合計	7,719	509
税金等調整前四半期純利益	2,490,208	1,991,154
法人税、住民税及び事業税	1,180,106	962,419
法人税等調整額	△124,868	△70,798
法人税等合計	1,055,238	891,621
四半期純利益	1,434,970	1,099,533
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,434,970	1,099,533

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	1,434,970	1,099,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,525	3,962
その他の包括利益合計	9,525	3,962
四半期包括利益	1,444,495	1,103,496
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,444,495	1,103,496

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（四半期連結損益計算書）

前第３四半期連結累計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「販売奨励金」は、金額的重要性が乏しくなったため、当第３四半期連結累計年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第３四半期連結累計年度の連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前第３四半期連結累計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「販売奨励金」に表示していた18,270千円、「その他」20,762千円は、「その他」39,032千円として組み替えております。

前第３四半期連結累計年度において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「損害賠償費用」は、金額的重要性が増したため、当第３四半期連結累計年度より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第３四半期連結累計年度の連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前第３四半期連結累計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた2,561千円は、「損害賠償費用」714千円、「その他」1,847千円として組み替えております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	1,638,426千円	1,686,761千円
のれんの償却額	32,916千円	32,916千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
	レンタル関連事業	スペースデザイン事業	物販事業	ＩＣＴ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,032,492	4,425,596	2,336,717	3,590,407	25,385,214	－	25,385,214
セグメント間の内部売上高又は振替高	383,021	6,765	18,894	2,146,535	2,555,216	△2,555,216	－
計	15,415,513	4,432,361	2,355,612	5,736,942	27,940,430	△2,555,216	25,385,214
セグメント利益	1,799,276	189,808	147,352	322,213	2,458,651	3,496	2,462,147

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
	レンタル関連事業	スペースデザイン事業	物販事業	ＩＣＴ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,708,989	4,368,737	2,030,569	3,547,016	24,655,312	－	24,655,312
セグメント間の内部売上高又は振替高	424,709	11,196	21,235	1,866,710	2,323,851	△2,323,851	－
計	15,133,698	4,379,933	2,051,804	5,413,726	26,979,163	△2,323,851	24,655,312
セグメント利益	1,374,917	253,954	45,076	269,753	1,943,702	△5,739	1,937,963

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。